

授業科目(ナンバリング)	健康栄養入門(IA108) (実践的教育科目)			担当教員	松尾嘉代子*・岡本美紀・山口留美・ 川野香織・野村秀一 (*実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の類型
栄養学の歴史を学び、社会における管理栄養士の使命や役割および活動分野の理解を通じて、管理栄養士を目指す気持ちを育む。併せて、管理栄養士として広い視野を持って活躍するために、各地域の食文化や生活習慣、経済及び栄養政策や制度等について、ディスカッションやグループワークを通して理解する。							②③⑤⑥
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	管理栄養士と関連職種と関わりを理解し、社会が要請する管理栄養士の役割を関連させて考えることができる。				・課題レポート	35%	
情報収集、 分析力	健康の維持・増進、疾病の予防・治療、福祉・介護における栄養管理に必要な情報を理解し、それぞれの課題を説明できる。				・課題レポート	15%	
コミュニケーション力	自分や身近な人達の食生活を振り返ることを通して、他者の食生活を把握するために必要なコミュニケーション力を理解できる。				・受講態度 ・課題レポート	5% 10%	
協働・課題解決力	グループワークを通して日本の健康課題を身近なものとして討議することができ、協働の重要性や課題解決力の必要性を理解できる。				・受講態度 ・課題レポート	5% 10%	
多様性理解力	管理栄養士の業務と役割を理解し、説明できる。 管理栄養士の歴史的背景を理解し、その必要性を説明できる。				・課題レポート	20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>講義が主になるが、受講態度 10%、課題レポートの成績 90%で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講態度は、事前学習(予習)、事後学習(復習)をすることとともに、私語の抑止、携帯電話の禁止、教室内での飲食禁止等の授業のマナーを守ることを含む。無断の途中退室は認めない。 ・課題レポートの内容は、担当教員ごとに授業内で指示する。そのレポートでは、担当教員の授業内容をどの程度理解できたか等について評価し、フィードバックをする。(レポートは、ポートフォリオを活用したり、授業の理解についてはレスポンスを用いたりする。) 							
授業の概要							
<p>これから管理栄養士を目指す者にとって、管理栄養士の任務や求められる知識・技術、活躍の場などについて、病院、保健所、行政機関での管理栄養士としての実務経験のある教員が分かりやすく説明し、今後、目指すべき管理栄養士像に対して具体的なイメージを持ち、進むべき進路を考える機会となるような内容の講義を行う。さらに、栄養調査の対象者として調査を体験することによって、将来、管理栄養士・栄養士として対象者への必要な配慮事項を学ぶ。後半では、国民健康・栄養調査の結果から、地域の健康状況から管理栄養士としてできる施策について、グループワークを通して理解する。必要に応じてプリント配付、映像(パワーポイントなど)を使用する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：随時、資料を配布する。</p> <p>参考書：「導入教育－信頼される専門職となるために－」(医歯薬出版)</p> <p>指定図書：本学図書館の栄養関連の蔵書</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>本科目は「管理栄養士」を理解し、健康と栄養の重要性を認識するための基本を示したものである。自分の目的意識を持って、管理栄養士の役割、栄養・健康について積極的に興味・関心を持ち、自らより高度なやりがいを見出し、将来の自分の進路について考えられるよう、期待する。</p> <p>また、予習・復習については、予め伝える次回の授業内容について、自分で調べて大まかな把握をしておくこと。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	管理栄養士とは？	管理栄養士とはどのような資格なのか、管理栄養士が登場した時代背景について考えるとともに、法令に定められた管理栄養士の役割と業務について、関係法規を基に考える。(松尾)	管理栄養士について、どのような資格なのかを調べて予習し、講義を通して理解を深める。
2	管理栄養士の使命	管理栄養士の職業倫理を理解し、自覚する。(野村)	職業倫理とは何なのか予習し、講義を通して理解を深める。
3	関連職種との関わり①	保健・福祉・教育等の現場での管理栄養士の仕事と、協働する職種について理解する。(松尾)	各職種で働く管理栄養士の業務を予習し、講義を通して理解を深める。
4	関連職種との関わり②	医療現場で働く管理栄養士の仕事について理解する。(山口) (課題レポート)	医療現場での栄養士業務について予習し、講義を通して理解を深める。
5	関連職種との関わり③	災害時における管理栄養士の仕事と、協働する職種について理解する。(川野) (課題レポート)	災害時に備えてや災害時の管理栄養士の業務を予習し、講義を通して理解を深める。
6	関連職種との関わり④	管理栄養士が、生涯を通じて多方面で活躍できる職種であることについて事例を基に理解する。(ゲストスピーカー・実務家) (松尾) (課題レポート)	多方面で管理栄養士が活躍するために必要な技術や知識について予習し、講義を通して理解を深める。
7	自分の食生活を知る①	個人の食生活の状況を知るために、どのようなこと(調査)を行っているのか。調査を行うにあたって、対象者の気持ちを知り、気遣いについて考える。(岡本)	食事量を把握する方法について予習し、講義を通して理解を深める。
8	自分の食生活を知る②	身体に関わる測定を行い、自身の現状を認識すると同時に、それらがどのように測定が行われるかを理解する。(岡本)	身体計測の方法とその項目を予習し、実測を行うことで理解を深める。
9	自分の食生活を知る③	食事の状況や生活の状況を把握する方法として、自記式質問調査を体験し、被調査者への気遣いや調査での質問の方法などについて理解し、考える。(岡本)	経験したことがある自記式質問調査について振り返り、留意すべき点を講義を通して理解する。
10	自分の食生活を知る④	面談による食事調査を体験し、口頭での質問の仕方を学ぶほか、被調査者の気持ちを知り、調査者として気遣わなければならないことを考える。(岡本) (課題レポート)	経験したことがある面談形式の調査について振り返り、留意すべき点について講義を通して理解をする。
11	自分の食生活を知る⑤	身体状況調査及び食事についての自記式質問調査の調査結果から、自身の食生活の状況を把握し、今後の食生活のあり方を考える。(岡本) (課題レポート)	自身の食事の状況はどのような状況であるかを想像し、講義を通して現状認識し、食生活改善の方法について理解する。
12	日本における健康課題について考える①	自分の食生活を振り返るとともに、どのような食事が理想的なのかを考え、実践する契機とする。また、現在、日本が抱える健康課題を栄養に関する問題から考える。(松尾)	国民健康・栄養調査の結果を予習し、授業を通して現在の日本の健康問題について理解する。
13	日本における健康課題について考える②	前回の授業内容を踏まえ、日本の健康課題について自分たちが考える解決策のグループワークを行い、全体で共有する。(松尾・川野)	日本の健康課題について、授業を通してその解決方法について理解する。
14	日本における健康課題について考える③	前回のグループワークの内容をもとに、自分が目指すべき管理栄養士像をイメージし、今後の学修目標について整理する。(松尾・川野) (課題レポート)	管理栄養士とはどうあるべきかについて考え、具体的なイメージを持つ。
15	まとめ	管理栄養士の可能性と期待されるものとは？(野村) (課題レポート)	全ての講義内容を振り返り、自分が目指す管理栄養士像について考える。